

## 「心に浮かぶ思い出の給食」 絵画・作文コンクール 審査結果発表

当社では非常事態宣言発出期間中、在宅勤務によるストレスや新型コロナウイルス感染拡大の影響下で不安な日々を過ごす従業員とご家族の皆様を少しでも明るく出来ないかと考え、「フジ産業応援プロジェクト」と題し種々の取組を実施しています。

第一弾として、外出自粛による休校中給食を食べられない子供たちを対象に「心に浮かぶ思い出の学校給食」をテーマとした絵画作文コンクールを開催しました。

応募作品をご覧頂くことで、当社従業員だけでなく給食運営に携わる関係者の皆さま方にも少しでも温かい気持ちになって頂ければと思い、受賞作品の一部（社長賞受賞作品）をご紹介します。

絵画部門 社長賞

名古屋支店 吉田 心緒さん（小学校6年生）



作文部門 社長賞

関西支店 山本 芯さん (小学校6年生)

タイトル：「私の思い出の給食」

思い出の給食は、3つあってカレーライス、あげぱん、ラッキー にんじんです。まずはなぜカレーライスかと言うと、私が入学して初めて食べたのがカレーライスだからです。1年生のころは、辛くて牛乳を飲んでカレーライスとこうごに食べていました。どんどん学年が上がっていくと平気になってきて、友達と給食時間に「なつかしいね」と話していました。

次にあげぱんです。あげぱんがあまっているといつもみんなでじゃんけんをしていました。あげぱんの好きなところは、さくっとしているところや、味は、きなこ、ココアがあってどの味でもおいしいところです。あげぱんは、作るのがとってもかんたんなのでお好みでまっちゃ、あずきとか乗せても美味しいです。何個か作って、色々な味をためしてみてもいいですね。

次は、ラッキー にんじんです。ラッキーにんじんがある学校とない学校があると思います。そこで私の学校でのラッキーにんじんの説明をします。私の学校では、スープに入っています。魚、動物、花などの色々な形があります。その中で6学年2～3クラスで一つしかない星です。星ではない形があたるだけでもラッキーですが、星はとってもめずらしく私は1回あつたのですがすごくうれしかったです。

星と同じくらいめずらしいのがバラのにんじんです。さすがにスープには入れられないので小さいおかずにとまーに入ってます。どっちかと言うと、星よりめずらしいです。大きいのですぐ分かるのですが、作るのが大変らしく1つしかないのでバラがあると、みんなでじゃんけんしています。それもまた私たちの楽しみです。ラッキーにんじんを作っているところを全校集会の時に、見せてくれたのですが、すごくてびっくりしすぎて開いた口がふさがらないくらいびっくりしました。

まだまだ、思い出の好きな給食はたくさんあります。私は、今6年生です。今この状況で友達と話せない友達と給食を食べられません。でも、この状況をがまんすれば、乗り越えれば、必ず必ずみんなと給食を食べれると信じています。なので、今の状況が少しでもよくなるよう、いのっています。低学年が調理員さんに、「おいしかったです。」と大きな声で言っているのを見ていて、心が温かくなります。なので、そんな日がもどるといいです。私は、そんな日常が大好きです。私は、来年中学生なので学校にはいません。ですが、こんな日常が続いているとうれしいです。中学生でも、給食はあるので中学では、中学校の思い出の給食を見つけたらいいです。中学生になっても友達と、給食について話せます。給食は、消えることなく、この先もずっと私たちの大切な一つの思い出です。

以上

---